第５　令和７年度資産カルテ

１．資産カルテの目的

県が管理する大規模な県有施設については、建設後の維持管理など今後の県財政への影響があることから、施設の状況や今後の大規模改修・修繕計画などについて的確な把握に努め、適正かつ効果的な維持管理を行っていくとともに、今後の維持管理や施設整備に対する県民の皆様の理解を得る観点から、施設に関する財務情報をわかりやすく提供していくことが重要と考えます。

このため、県議会からご提言いただきました「財政の健全化に向けた提言」のご趣旨もふまえ、施設の適切な管理と県民の皆様への情報開示のため、大規模施設について「資産カルテ」を作成し、公表しています。

２．対象施設の考え方

（１）施設の規模

県財政への影響の観点から、施設の規模が相当程度あること。

（２）県民の利用

県民への情報開示の観点から、広く県民に利用されている施設であること。

（３）利用料金の徴収

維持管理費と料金との関係を検証する観点から、利用料金を徴している施設であること。

３．今年度における対象施設

上記の考え方に基づき、今年度は、以下の施設の資産カルテを作成しましたので、次頁以下に掲載します。

〇三重県総合文化センター
複合文化施設（文化会館、県立図書館など）
〇三重県立美術館
〇三重県営サンアリーナ
コンベンション施設（メインアリーナ、サブアリーナなど）
〇三重交通Ｇ スポーツの杜 鈴鹿（三重県営鈴鹿スポーツガーデン）
総合スポーツ施設（水泳場、庭球場など）
〇三重交通Ｇ スポーツの杜 伊勢（三重県営総合競技場）
総合スポーツ施設（陸上競技場、体育館など）
〇三重県総合博物館

なお、その他の施設の概要については、三重県ホームページの「財産管理」ページに「個別施設の概要」として公表しています。

４．資産カルテの活用

県が管理する大規模施設について、長期にわたり計画的かつ効果的な維持管理を進めるとともに、施設に関する財務情報等をわかりやすく提供するため、この資産カルテを活用し、施設の運営管理の状況を多面的にチェックしていくことで、利用者の皆様に良質なサービスを提供し効率的な施設管理を行っていけるよう努めます。

資 産 カ ル テ【令和7年度決算】

施設名　三重県総合文化センター

建築年月日	平成6年6月竣工	供用開始日	平成6年10月	延床面積	46,305㎡	敷地面積	62,224㎡
建物構造、構成	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	公益財団法人三重県文化振興事業団				

	資産		財源	
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C)	432億6千4百万円	財源計	432億6千4百万円
			（内訳）	
	建物建設費(A)	364億6百万円	国庫支出金	－
	1期（当初）	357億5千9百万円	地方債	298億6千7百万円
	立体駐車場建築	6億4千7百万円	県費その他	133億9千7百万円
	用地費(B)	27億5千3百万円		
	備品・その他(C)	41億5百万円	（ 地方債残高	38億1百万円 ）
今後の整備				

今後の修繕	修繕計画（予定）		
	・施設修繕（R8～25）	54億8千8百万円	90億5千3百万円
	・舞台修繕（R8～25）	35億6千5百万円	

運営費（単年度）	支出額（決算額）	R7	R6		収入額（決算額）	R7	R6	
	人件費	637,905	614,974	千円	料金収入	161,146	157,760	千円
	管理費	542,858	556,838	千円	……A1			
	修繕費	924,139	1,313,652	千円	事業収入等	95,132	111,892	千円
	事業費	357,053	391,063	千円	県費負担額	2,324,327	2,693,308	千円
	元利償還金	118,650	86,433	千円	……A2			
	計	2,580,605	2,962,960	千円	計	2,580,605	2,962,960	千円

ライフサイクルコスト

施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上

建物建設費・改修費累計額①
- ・これまで　364億6百万円
- ・今後　－百万円
- 計　364億6百万円

修繕費累計額②
- ・これまで　79億8千5百万円
- ・今後　90億5千3百万円
- 計　170億3千7百万円

人件費累計額③
- ・これまで　163億1千万円
- ・今後　114億8千2百万円
- 計　277億9千2百万円

管理費累計額④
- ・これまで　165億8千3百万円
- ・今後　97億7千1百万円
- 計　263億5千4百万円

利子累計額⑤
- ・これまで　97億2千1百万円
- ・今後　4億6千8百万円
- 計　101億8千9百万円

ライフサイクルコスト計
①～⑤ 計
1177億7千8百万円

成果指標（実績は令和7年度）	
目標値①	施設利用率　年間75.0%
実績	施設利用率　年間73.8%
目標値②	
実績	

県民1人当たり運営費負担額				
A2÷C R7	1,371 円	C… （R7推計人口）	1,694,896	人（R7.10.1）
A2÷D R6	1,574 円	D… （R6推計人口）	1,711,370	人（R6.10.1）

利用者数
- ・当初予定利用者数
  年間56.35万人（図書館除く）
- ・実績（令和7年度）
  570,458 人（図書館除く）
  193,835 人（図書館）
  計　764,293 人 …… B

（参考） 利用者1人当たりの運営費負担額
- A1÷B R7　211 円
- 【 R6　168 円 】

資 産 カ ル テ （続き）

施設名 三重県総合文化センター

管理運営方針（基本的考え方、料金改訂等）

・県民の誰もが文化芸術を享受でき、文化活動に参加・参画できる環境づくりを進める。
・運営の中で積み上げてきた事例や蓄積された幅広いノウハウ、成果を県内の市町や県民に情報発信し、新しい地域社会を創造する原動力となる「文化力」を高めていく。
・行政機関、民間団体、NPO、ボランティア等との連携を強化し、多様な学習機会、交流の場、発表の場を提供する。
・文化芸術、生涯学習、男女共同参画活動の拠点施設として、情報提供、交流、人材育成、活動支援等の専門性を発揮する。

料金体系

【営利】
・大ホール　平日午前　入場料1,000円以下　64,070円
・中ホール　平日午前　入場料1,000円以下　32,030円
・大会議室　午前　17,930円
など

【非営利】
・大ホール　平日午前　入場料1,000円以下　42,710円
・中ホール　平日午前　入場料1,000円以下　21,350円
・大会議室　午前　8,960円
など

施設の耐震化状況

建物構造物は、S56建築基準法改正後建築であるため、耐震基準を満たしている。
吊天井については、H20に大ホール・中ホール、多目的ホール、H23にレセプションホール等の耐震改修工事を実施し終了。

施設のバリアフリー化状況

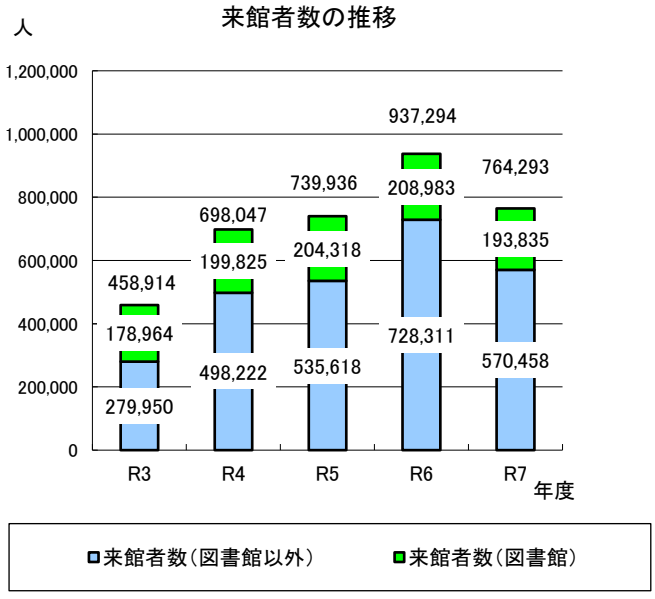
平成12年度にバリアフリー工事を実施済。（約1.2億円）（スロープ改修・階段手摺設置・点字ブロック設置・トイレ改修・車椅子用駐車場整備他）

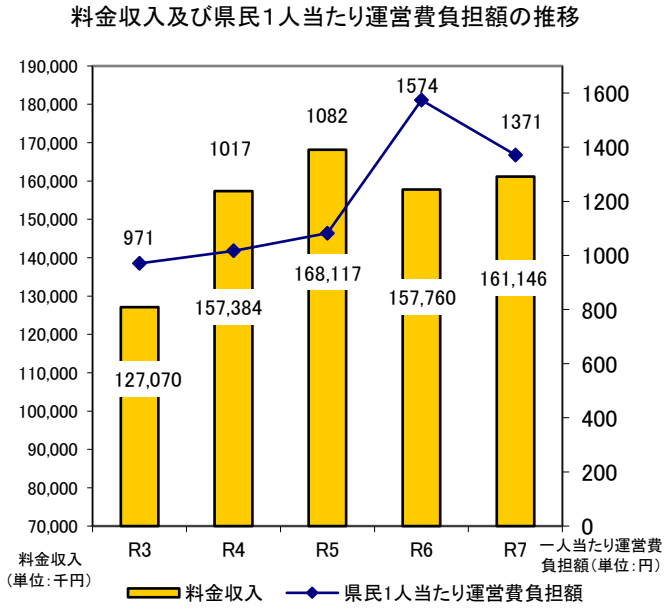
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】（利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など）

経営の効率化や機動性・弾力性を生かした各種サービスの改善により、県の文化芸術・生涯学習・男女共同参画の拠点施設として質の高い事業を展開しており、来館者数・事業への参加者数は概ねコロナ前の水準に回復した。一方で、中・小規模施設の利用者が減少傾向にあるが、利用者再獲得のため設備やサービスの充実、広報に努めている。
また、令和7年度は施設修繕工事による3か月の休館が生じたものの、特にアウトリーチに注力して柔軟な事業展開を行った。今後も複合施設のメリットを生かした事業連携や県内各施設とのさらなる連携を期待する。

成果指標の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用率（%）	57.7	70.5	74.0	74.9	73.8





資 産 カ ル テ【令和7年度決算】

施設名：三重県立美術館

建築年月日	昭和57年3月	供用開始日	昭和57年9月	延床面積	10,665．88㎡	用地面積	24,403.80㎡
建物構造、構成	鉄筋コンクリート(一部鉄骨鉄筋コンクリート)造地上2階一部地下1階建						
施設運営形態	一部指定管理者	指定管理者名	公益財団法人三重県文化振興事業団				

これまでの整備

資産		財源	
総事業費(A)+(B)+(C)	86億4千5百万円	財源計	86億4千5百万円
		（内訳）	
建物建設費(A)	45億8千2百万円	国庫支出金	
当初	27億8千2百万円	地方債	86億4千5百万円
増改築	18億円	県費その他	
用地費(B)	総合教育センター敷地		
備品・その他(C)	40億6千3百万円	（ 地方債残高	7億7千9百万円 ）

今後の整備

今後の修繕

修繕計画（予定）		
施設設備（R8）	1億2千3百万円	9億1千8百万円
施設設備（R9）	3億1千5百万円	
施設設備（R10）	3億5千4百万円	
施設設備（R11）	1億2千7百万円	

運営費（単年度）

支出額（決算額）	R7	R6		収入額（決算額）	R7	R6	
人件費	94,242	100,542	千円	料金収入	16,824	16,316	千円
				……A1			
管理費	213,178	194,138	千円	事業収入等	0	0	千円
				県費負担額	590,099	761,735	千円
修繕費	183,336	413,609	千円	……A2			
事業費	92,168	49,161	千円	雑収入	4,972	3,584	千円
元利償還金	28,971	24,185	千円	国庫支出金	0	0	千円
計	611,895	781,635	千円	計	611,895	781,635	千円

ライフサイクルコスト

施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上

建物建設費・改修費累計額①
- ・これまで　45億8千2百万円
- ・今後　－ 百万円
- 計　45億8千2百万円

修繕費累計額②
- ・これまで　15億6千万円
- ・今後　9億1千8百万円
- 計　24億7千8百万円

人件費累計額③
- ・これまで　49億7千5百万円
- ・今後　5億6千5百万円
- 計　55億4千万円

管理費累計額④
- ・これまで　62億7千8百万円
- ・今後　12億7千9百万円
- 計　75億5千7百万円

利子累計額⑤
- ・これまで　7億7千7百万円
- ・今後　8千6百万円
- 計　8億6千3百万円

ライフサイクルコスト計

①～⑤ 計

210億2千1百万円

成果指標（実績は令和7年度）

目標値①	入館者数　100,000人
実績	81,891人
目標値②	
実績	

県民1人当たり運営費負担額

A2÷C R7	348	円	C‥（R7推計人口）	1,694,896	人（R7.10.1）
A2÷D R6	445	円	D‥（R6推計人口）	1,711,370	人（R6.10.1）

利用者数

- ・当初予定入館者数
  100,000人
- ・実績（令和7年度）　81,891 人

計　81,891 人 …… B

（参考）利用者1人当たり運営費負担額

A1÷B R7　205 円

（ R6　197 円 ）

資 産 カ ル テ （続き）

施設名 **三重県立美術館**

管理運営方針（基本的考え方、料金改訂等）

・明治期以降の日本近代洋画を中心に、現代の生きた動きを物語る作品、日本の作家たちに影響を与えた海外の作品、近世以後の三重県にゆかりの深い美術家の作品などを収集する。
・資料収集、調査研究、展示、教育普及など美術館の基本的な機能を重視し、独自の企画展のほか、多彩な展覧会を開催する。
・生涯学習活動として、移動美術館、美術セミナー及び各種講座、子どもの体験型ワークショップの実施など地域社会へサービスの充実を図る。
・美術館活動の活性化と支援のため、美術館ボランティア「欅の会」、公益財団法人三重県立美術館協力会、三重県立美術館友の会、公益財団法人岡田文化財団との協力体制を整備し、連携しながら積極的な活動を展開する。

料金体系

県立美術館

常設展　一般　310円
学生(大学・各種専門学校等)　210円
企画展は、その都度設定

施設の耐震化状況

平成20年度にエントランスつり天井改修済。柳原義達記念館A室、企画展示4室のつり天井は平成27年度に改修済。
柳原義達記念館の彫刻作品の免震装置は、設置済。
その他の彫刻作品、工芸作品の免震装置はなし。

施設のバリアフリー化状況

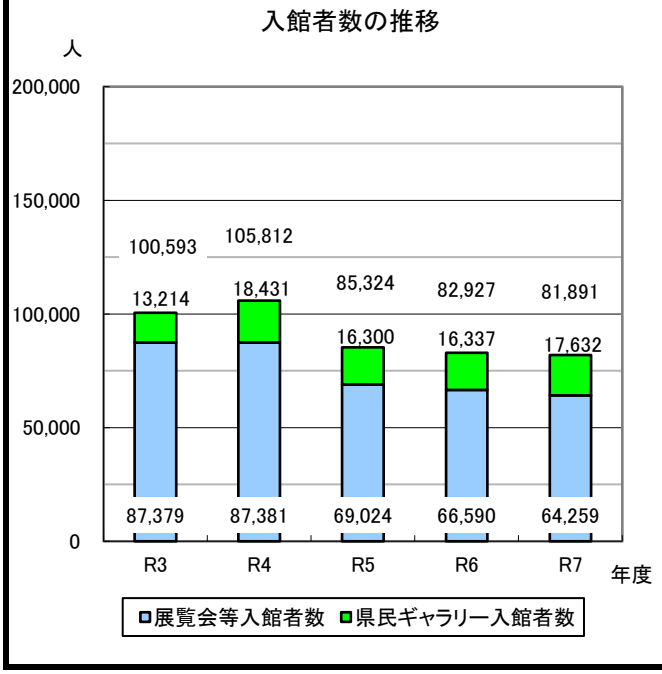
展示スペースのバリアフリー化は、ほぼ終了している。

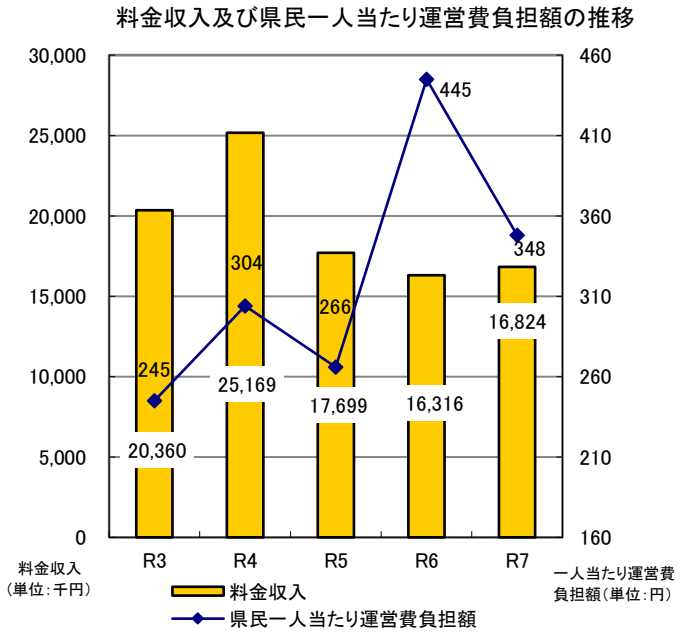
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】（利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など）

美術館活動の支援団体である美術館ボランティア「欅の会」、公益財団法人三重県立美術館協力会、三重県立美術館友の会、公益財団法人岡田文化財団等と連携しながら積極的な活動を展開した。
限られた経営資源で質の高い企画展を維持しながら、よりきめの細かいサービスを提供していく必要がある。

成果指標の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
展覧会等入館者数	87,379	87,381	69,024	66,590	64,259
県民ギャラリー入館者数	13,214	18,431	16,300	16,337	17,632





資 産 カ ル テ【令和7年度決算】

施設名　三重県営サンアリーナ

建築年月日	平成6年5月竣工	供用開始日	平成7年1月4日	延床面積	24,312㎡	敷地面積	28,645㎡
建物構造、構成	鉄筋コンクリート造及び鉄筋造3階建						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	株式会社　スコルチャ三重				

	資産		財源	
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C)	180億4千万円	財源計	180億4千万円
			（内訳）	
	建物建設費(A)		国庫支出金	
	1期（当初）	160億1千4百万円	地方債	140億2千万円
			県費その他	40億2千万円
	用地費(B)	6億1千6百万円		
	備品・その他(C)	14億1千万円	（ 地方債残高	12億5千1百万円 ）
今後の整備				
今後の修繕	修繕計画（予定） 令和8年度～		100億2千1百万円	

運営費（単年度）	支出額（決算額）	R7	R6		収入額（決算額）	R7	R6	
	人件費	71,157	71,606	千円	料金収入	90,605	93,352	千円
					……A1			
	管理費	186,356	196,706	千円	事業収入等	10,808	19,562	千円
	修繕費	127,580	127,058	千円	国庫負担額	0	0	千円
	事業費	12,066	19,786	千円	県費負担額	386,823	380,590	千円
	元利償還金	91,077	78,348	千円	……A2			
	計	488,236	493,504	千円	計	488,236	493,504	千円

ライフサイクルコスト

施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上

建物建設費・改修費累計額①
- ・これまで　160億1千4百万円
- ・今後　ー　百万円
- 計　160億1千4百万円

修繕費累計額②
- ・これまで　29億7千5百万円
- ・今後　100億2千1百万円
- 計　129億9千6百万円

人件費累計額③
- ・これまで　28億7百万円
- ・今後　13億3千8百万円
- 計　41億4千5百万円

管理費累計額④
- ・これまで　63億1千7百万円
- ・今後　35億9千1百万円
- 計　99億8百万円

利子累計額⑤
- ・これまで　47億7千1百万円
- ・今後　8千5百万円
- 計　48億5千6百万円

ライフサイクルコスト計

①～⑤　計

479億1千8百万円

成果指標（実績は令和7年度）		
目標値①	メインアリーナ平均稼働率	60.0 %
実績		56.4 %
目標値②	サブアリーナ平均稼働率	70.0 %
実績		65.0 %
目標値③	会議室等平均稼働率	20.0 %
実績		20.1 %
目標値④	サンアリーナ利用人数合計	300,000 人
実績		182,266 人

県民1人当たり運営費負担額						
A2÷C	R7	228 円	C… （R7推計人口）	1,694,896	人（R7.10.1）
A2÷D	R6	222 円	D… （R6推計人口）	1,711,370	人（R6.10.1）

利用者数

- ・当初予定利用者数
  - 年間　30 万人
- ・実績（令和7年度）
  - 182,266 人
  - 計　182,266 人 …… B

（参考） 利用者1人当たり運営費負担額

A1÷B R7　497 円

【 R6　501 円 】

資 産 カ ル テ （続き）

施設名 三重県営サンアリーナ

管理運営方針（基本的考え方、料金改訂等）

・“であいと交流”のステージを提供する。
・新たな“であい”によって文化を育み、“交流”を通じて人々に活力を与える。
・多目的機能を備えた大規模複合施設である特性を活かし、様々な催しを実施し、地域との豊かなコミュニケーションに寄与する。
・特色のある文化活動や国際交流、スポーツの普及振興に取り組み、魅力ある三重県に貢献する。
・様々な活動を通じて、経済を活性化し、地域振興に寄与する。

料金体系

メインアリーナ【全部利用】

アマチュアスポーツ等 平日 8,580～132,000 円/1H
土・日・祝 10,260～157,130 円/1H

音楽・プロスポーツ興行
平日 88,000～132,000 円/1H
土・日・祝 104,750～157,130 円/1H

サブアリーナ【全部利用】

アマチュアスポーツ等 平日 1,670～31,420 円/1H
土・日・祝 2,080～37,700 円/1H

音楽・プロスポーツ興行
平日 20,950～31,420 円/1H
土・日・祝 26,180～37,700 円/1H

施設の耐震化状況	施設のバリアフリー化状況
H18～19 天井耐震改修工事実施	H13 身障者用駐車場及び屋外通路設置工事 H24 トレーニング室前身障者トイレ改修工事 H25,26 障がい者トイレ改修工事 H29 オストメイトトイレ設置工事

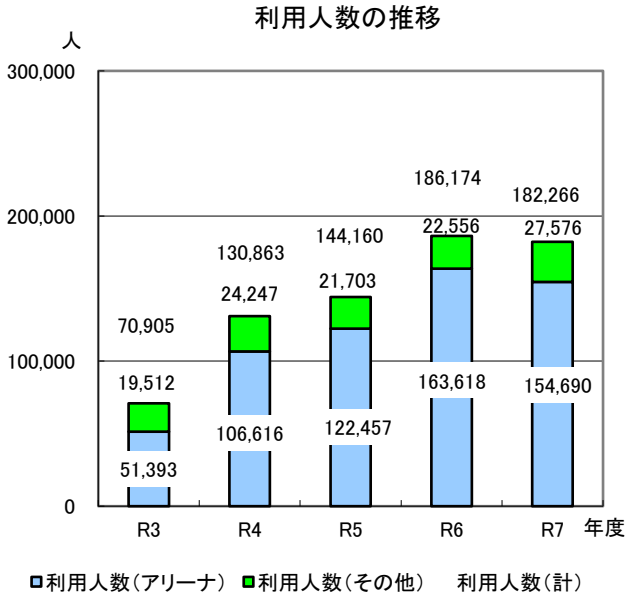
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】（利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など）

地域団体とのコラボレーションに努め、地域と連携した多彩なイベント等を実現し、新たな分野での利用拡大につなげている。また、地域や企業を対象とした体力・健康づくりやコミュニティの活性化に向けた自主事業の取組により、地域の文化・健康づくりや地域経済に貢献している。今後は、老朽化が進む施設・設備について、修繕工事により利用促進等への支障をきたすことのないよう運営面での配慮を要する。

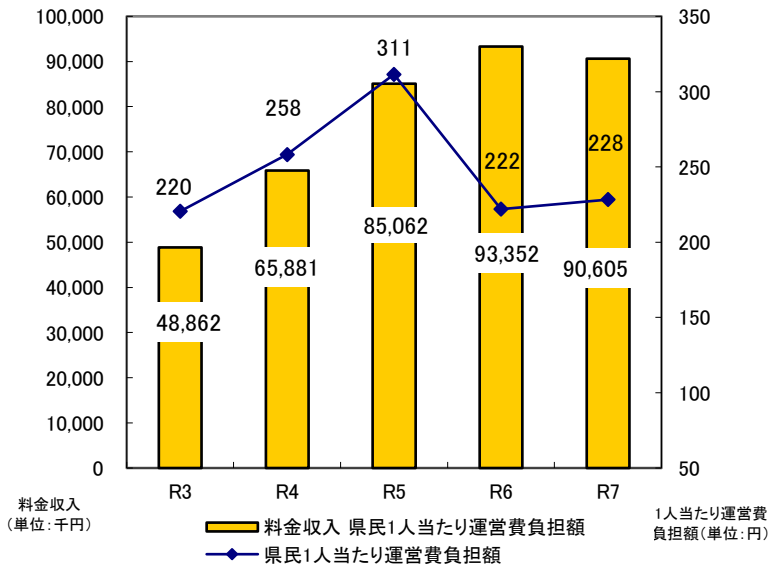
成果指標の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用人数	70,905	130,863	144,160	186,174	182,266
平均稼働率（メインアリーナ）	45.1%	53.5%	57.2%	54.3%	56.4%

利用人数の推移



料金収入及び県民1人当たり運営費負担額の推移



資 産 カ ル テ【令和7年度決算】

施設名　三重交通G スポーツの杜 鈴鹿（三重県営スポーツガーデン）

建築年月日	平成4年8月	供用開始日	平成4年10月	延床面積	33,964㎡	敷地面積	391,000㎡
建物構造、構成	鉄骨造、鉄筋コンクリート造						
施設運営形態	指定管理者		指定管理者名	三重県スポーツ協会グループ			

資産

これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C)	188億6千9百万円
	建物建設費(A)	121億4千4百万円
	1期	14億6百万円
	2期	92億5千4百万円
	3期	14億8千4百万円
	用地費(B)	21億5千2百万円
	備品・その他(C)	45億7千3百万円
	過去の改修費	26億2千8百万円
今後の整備	大規模改修計画（～R23予定）	
	・サッカーラグビー場（芝改修）	6億円
	・水泳場（外壁等）	9億円
	・体育館庭球場（人工芝等更新）	9億円
今後の修繕	修繕計画（～R23予定）	
	・サッカーラグビー場機器	5億円
	・水泳場機器	60億円
	・体育館庭球場機器	21億円

財源

	財源計	188億6千9百万円
	（内訳）	
	国庫支出金	
	地方債	130億5千万円
	県費その他	58億1千9百万円
	（ 地方債残高	14億7千3百万円 ）
		24億円
		86億円

ライフサイクルコスト

施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上

建物建設費・改修費累計額①
- ・これまで　147億7千2百万円
- ・今後　24億円
- 計　171億7千2百万円

修繕費累計額②
- ・これまで　1千6百万円
- ・今後　86億円
- 計　86億1千6百万円

管理費・人件費累計額③
- ・これまで　128億4千1百万円
- ・今後　69億6千3百万円
- 計　198億4百万円

利子累計額④
- ・これまで　30億4千9百万円
- ・今後　1億2千9百万円
- 計　31億7千8百万円

ライフサイクルコスト計

①～④ 計　487億7千万円

運営費（単年度）

支出額（決算額）	R7	R6		収入額（決算額）	R7	R6	
人件費	70,435	68,131	千円	料金収入	105,532	104,040	千円
管理費	432,761	435,872	千円	……A1			
修繕費等	0	0	千円	事業収入等	43,781	40,666	千円
事業費	38,219	37,381	千円	県費負担額	464,461	468,539	千円
元利償還金	72,359	71,861	千円	……A2			
計	613,774	613,245	千円	計	613,774	613,245	千円

※修繕費等は管理費に含む

成果指標（実績は令和7年度）

目標値①	利用者数（合計）	目標値	569,000人
実績		実績	606,383人
目標値②		―	
実績			

利用者数

- ・当初予定利用者数
  年間56万9千人
- ・実績（令和7年度）
  606,383 人

計　606,383 人 …… B

（参考）利用者1人当たり運営費負担額

A1÷B R7　174 円

【 R6　180 円 】

県民1人当たり運営費負担額

A2÷C	R7	274 円	C…	（R7推計人口）	1,694,896	人（R7.10.1）
A2÷D	R6	274 円	D…	（R6推計人口）	1,711,370	人（R6.10.1）

資 産 カ ル テ （続き）

施設名　三重交通G スポーツの杜 鈴鹿（三重県営スポーツガーデン）

管理運営方針（基本的考え方、料金改訂等）

・生涯スポーツ振興と競技力向上の拠点となる総合的スポーツ施設としての機能を十分発揮するよう、管理運営を行う。
・競技環境の質の維持及び安全性の向上に努める。
・効果的かつ効率的な管理運営を行う。
・利用者の視点に立った管理運営を行う。

料金体系

水泳場
　メインプール・サブプール・トレーニングルーム
　　一般　560円/ 回
庭球場
　屋外コート　　一般　620円/面・時間
　シェルターコート　　一般　830円/面・時間
　センターコート　　一般　1,250円/面・時間

サッカーラグビー場
　メイングラウンド　　一般　3,660円/時間
　第1,2,4グラウンド　　一般　1,880円/時間
　第3グラウンド　　一般　全面3,000円/時間、半面1,500円/時間

体育館（全部使用）
　平日料金　2,400円/時間　日・祝日料金　3,030円/時間
　トレーニングルーム　　一般　140円/時間
※全てアマチュアによる入場料を徴収しない場合

施設の耐震化状況

建物構造物は、すべてS56．6．1建築基準法改正法施行後建築のため、耐震対策済

施設のバリアフリー化状況

身障者用（多機能）トイレ、身障者（車いす）用観覧席、エレベーターを設置済

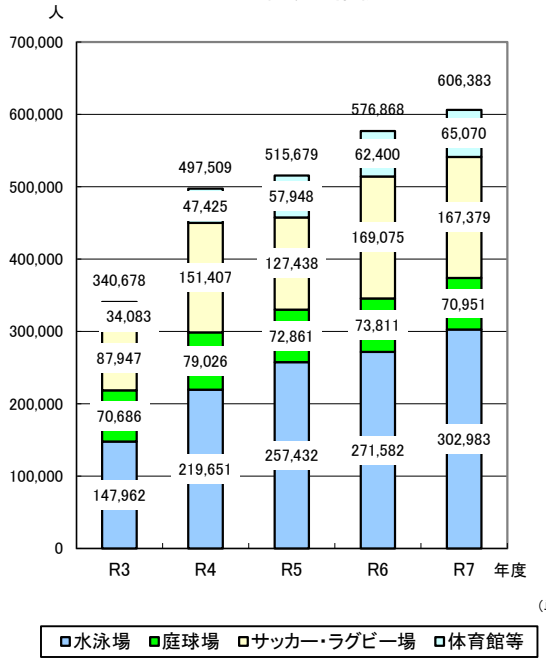
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】（利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など）

・競技団体等との利用調整、利用許可や料金収受、施設の維持管理及び修繕等に関する業務を適切に実施している。
・利用規定について、利用者の要望に対応できるようできる限り改定を行っており、より利用しやすい施設の提供に努めている。
・休業日の縮小及び営業時間の延長を行っており、利用者サービス及び利便性の向上に努めている。
・利用者数の増加を図るため、利用者のニーズに応じたスポーツ教室などの主催事業を実施している。
・利用者サービスのさらなる向上に向けた取組を継続していく必要がある。
・施設の老朽化対策に予算を確保し、安全・快適な利用環境を維持していく必要がある。

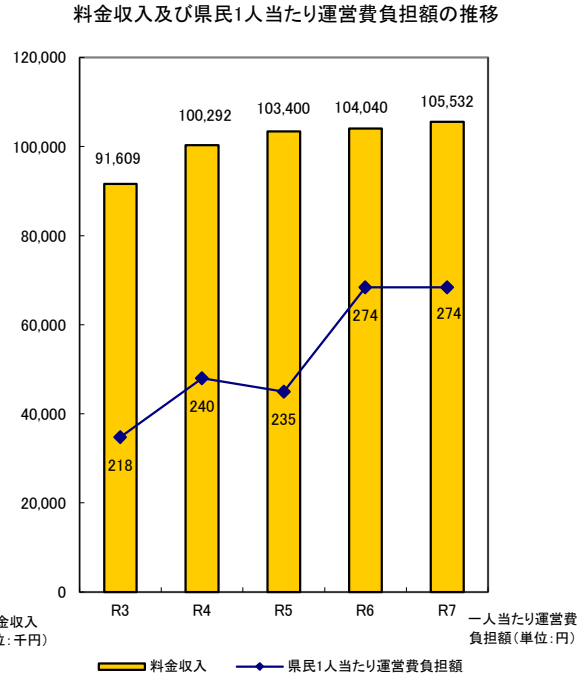
成果指標の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数（合計）	340,678	497,509	515,679	576,868	606,383

利用者数の推移



料金収入及び県民1人当たり運営費負担額の推移



資 産 カ ル テ【令和7年度決算】

施設名　三重交通G スポーツの杜 伊勢（三重県営総合競技場）

建築年月日	昭和39年3月	供用開始日	昭和39年4月	延床面積	27,672㎡	用地面積	185,426㎡
建物構造、構成	鉄骨造、鉄筋コンクリート造						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	三重県スポーツ協会グループ				

これまでの整備

資産		財源	
総事業費(A)+(B)+(C)	88億5千1 百万円	財源計	88億5千2 百万円
建物建設費(A)	85億6千2 百万円	（内訳）	88億5千2 百万円
1期	2億1千0 百万円	国庫支出金	22億7千5 百万円
2期	2億8千0 百万円	地方債	65億7千7 百万円
3期	2億6千1 百万円	県費その他	
4期	5億2千5 百万円		
5期	72億8千6 百万円		
用地費(B)	0 百万円		
備品・その他(C)	2億8千9 百万円	（ 地方債残高	52億3千6百万円 ）
過去の改修費	45億4千9 百万円		

今後の整備

資産		財源	
大規模改修計画（～R11予定）			
・陸上競技場	8億1千8百 万円		26億5千6百万円
・体育館本館・別館	18億3千8百 万円		

今後の修繕

※修繕は、改修にあわせて実施。

運営費（単年度）

支出額（決算額）	R7	R6		収入額（決算額）	R7	R6	
人件費	42,287	51,490	千円	料金収入	32,579	33,200	千円
管 理 費	94,282	87,284	千円	……A1			
修繕費等	0	0	千円	事業収入等	11,853	11,951	千円
事 業 費	2,817	4,761	千円	県費負担額	1,001,934	545,543	千円
元利償還金	906,980	447,159	千円	……A2			
計	1,046,366	590,694	千円	計	1,046,366	590,694	千円

※修繕費等は管理費に含む

ライフサイクルコスト

施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上（S39～H25）

建物建設費・改修費累計額①
- ・これまで　39億5千0 百万円
- ・今後　－ 百万円
- 計　39億5千0 百万円

修繕費累計額②
- ・これまで　0 百万円
- ・今後　－ 百万円
- 計　0 百万円

人件費累計額③
- ・これまで　8億6千6 百万円
- ・今後　－ 百万円
- 計　8億6千6 百万円

管理費累計額④
- ・これまで　15億6千5 百万円
- ・今後　－ 百万円
- 計　15億6千5 百万円

利子累計額⑤
- ・これまで　2億9千7 百万円
- ・今後　－ 百万円
- 計　2億9千7 百万円

※これまでの利子累計額には、未償還利子を含む。

平成25年度において耐用年数50年を経過したため、更新しない。

ライフサイクルコスト計
①～⑤ 計
66億7千8百万円

成果指標（実績は令和7年度）

目標値① 実績	利用者数	目標値　384,500人 実績　285,208人
目標値② 実績	－	

県民1人当たり運営費負担額

A2÷C	R7	591 円	C… （R7推計人口）	1,694,896	人（R7.10.1）
A2÷D	R6	319 円	D… （R6推計人口）	1,711,370	人（R6.10.1）

利用者数

- ・当初予定利用者数
  年間38万5千人
- ・実績（令和7年度）
  285,208 人

計　285,208 人 …… B

（参考） 利用者1人当たり運営費負担額

A1÷B　R7　114 円
【 R6　99 円 】

資 産 カ ル テ （続き）

施設名　三重交通G スポーツの杜 伊勢（三重県営総合競技場）

管理運営方針（基本的考え方、料金改訂等）

・生涯スポーツ振興と競技力向上の拠点となる総合的スポーツ施設としての機能を十分発揮するよう、管理運営を行う。
・競技環境の質の維持及び安全性の向上に努める。
・効果的かつ効率的な管理運営を行う。
・利用者の視点に立った管理運営を行う。

料金体系

・陸上競技場
全部使用の場合　3,140円/ 時間
・第二陸上競技場
全部使用の場合　1,250円/ 時間
・投てき場
全部利用の場合　1,250円/時間
・体育館本館
全部使用の場合　2,510円/ 時間
・体育館別館
全部使用の場合　1,250円/ 時間

・トレーニングセンター
高校生以下　60円/時間　　その他の者　120円/時間

※全てアマチュアによる入場料を徴収しない場合

施設の耐震化状況

H9.3に実施した耐震診断の結果、全施設耐震性能があると判定された。
体育館本館の吊天井は、H21.7に耐震改修を完了した。
陸上競技場メインスタンドは、H29.10に建替した。

施設のバリアフリー化状況

身障者用（多機能）トイレを設置済

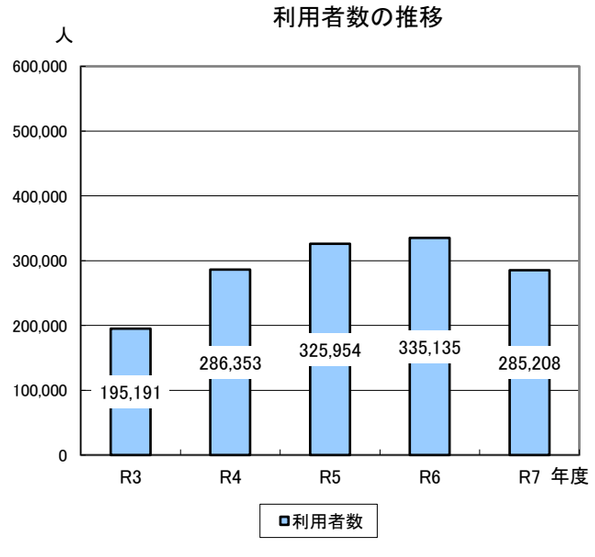
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】（利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など）

・競技団体等との利用調整、利用許可や料金収受、施設の維持管理及び修繕等に関する業務を適切に実施している。
・利用規定について、利用者の要望に対応できるようできる限り改定を行っており、より利用しやすい施設の提供に努めている。
・休業日の縮小及び営業時間の延長を行っており、利用者サービス及び利便性の向上に努めている。
・利用者数の増加を図るため、利用者のニーズに応じたスポーツ教室などの主催事業を実施している。
・利用者サービスのさらなる向上に向けた取組を継続していく必要がある。
・施設の老朽化対策に予算を確保し、安全・快適な利用環境を維持していく必要がある。

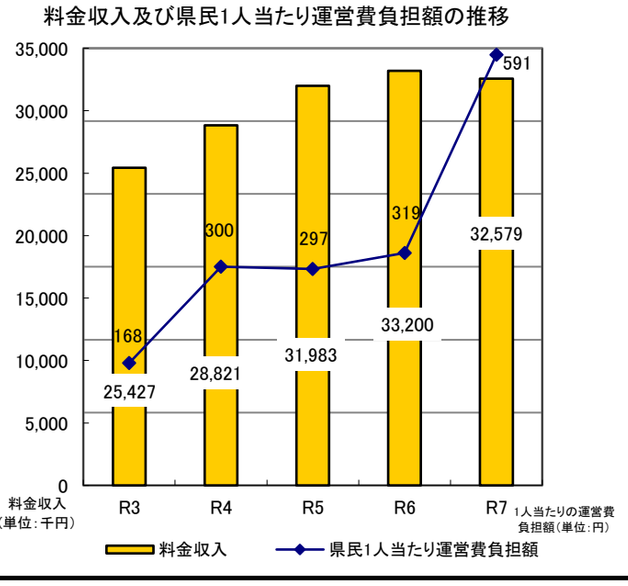
成果指標の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数	195,191	286,353	325,954	335,135	285,208

利用者数の推移



料金収入及び県民1人当たり運営費負担額の推移



資 産 カ ル テ【令和7年度決算】

施設名　三重県総合博物館

建築年月日	平成25年4月	供用開始日	平成26年4月	延床面積	11,705.09㎡	用地面積	38,884.70㎡
建物構造、構成	鉄骨鉄筋コンクリート(一部鉄筋コンクリート)造、免震構造　地上2階地下1階						
施設運営形態	一部指定管理者	指定管理者名	公益財団法人三重県文化振興事業団				

これまでの整備

資産		財源	
総事業費(A)+(B)+(C)	110億2千2百万円	財源計	110億2千2百万円
		（内訳）	
建物建設費(A)	67億2千3百万円	国庫支出金	
		地方債	110億2千2百万円
		県費その他	
用地費(B)	23億9千4百万円		
備品・その他(C)	19億5百万円	（ 地方債残高	11億1千4百万円 ）

今後の整備

今後の修繕更新

修繕更新計画（予定）		
建築・施設設備（R8～15）	14億9千6百万円	69億7千2百万円
建築・施設設備（R16～25）	28億5千6百万円	
建築・施設設備（R26～35）	8億7千7百万円	
建築・施設設備（R36～45）	11億2千万円	
建築・施設設備（R46～55）	6億2千3百万円	

運営費（単年度）

支出額（決算額）	R7	R6		収入額（決算額）	R7	R6	
人件費	182,931	179,823	千円	料金収入	76,716	24,018	千円
				……A1			
管理費	221,779	341,010	千円	事業収入等	0	0	千円
				県費負担額	612,513	748,768	千円
修繕費	11,349	12,176	千円	……A2			
事業費	101,693	57,177	千円	雑収入	12,426	15,172	千円
元利償還金	183,903	197,772	千円	国庫支出金	0	0	千円
計	701,655	787,958	千円	計	701,655	787,958	千円

ライフサイクルコスト

施設の耐用年数を60年とし、60年間の総コストを計上

建物建設費累計額①
- ・これまで　67億2千3百万円
- ・今後　ー　百万円
- 計　67億2千3百万円

修繕費累計額②
- ・これまで　7千5百万円
- ・今後　69億7千2百万円
- 計　70億4千7百万円

人件費累計額③
- ・これまで　23億3千1百万円
- ・今後　76億8千万円
- 計　100億1千1百万円

管理費累計額④
- ・これまで　21億9千万円
- ・今後　69億6千万円
- 計　91億5千万円

利子累計額⑤
- ・これまで　5億4千4百万円
- ・今後　8千8百万円
- 計　6億3千2百万円

ライフサイクルコスト計

①～⑤　計　335億6千3百万円

成果指標（実績は令和7年度）

目標値①	展示観覧者数　128,000人
実績	227,347人
目標値②	ー
実績	

利用者数

- ・当初予定入館者数　190,000人
- ・実績（令和7年度）　267,368 人

計　267,368 人 …… B

（参考）利用者1人当たり運営費負担額

A1÷B R7　287 円

（ R6　64 円 ）

県民1人当たり運営費負担額

A2÷C R7	361	円	C…	（R7推計人口）	1,694,896	人（R7.10.1）
A2÷D R6	438	円	D…	（R6推計人口）	1,711,370	人（R6.10.1）

資 産 カ ル テ （続き）

施設名 三重県総合博物館

管理運営方針（基本的考え方、料金改訂等）

・三重の自然と歴史・文化に関する資産の衰退・散逸・滅失・絶滅を防ぎ、県民の共有財産として次代に引き継ぎ生かすことを目的に、資料を収集・保存する。
・県民・利用者の参加・参画を得るとともに、諸団体・諸機関と連携しながら、横断的・総合的な観点に立った幅広い調査研究活動を展開する。
・三重の自然や歴史・文化への興味関心を高めるため、各種企画展をはじめ、さまざまな団体や企業との交流展を開催する。
・知りたい、学びたい、調べたいなどのさまざまなニーズに対応するとともに、県民・利用者、諸団体、館の相互交流の場となり、新たな創造や発信へとつなげるために、閲覧レファレンス活動事業、学習支援活動事業、諸団体との交流・連携事業を展開する。

料金体系

総合博物館(令和元年10月～)
基本展示　一般　520円
基本展示　学生（大学、各種専門学校等）　310円
企画展は、その都度設定
年間パスポート
一般　1,670円
学生（大学、各種専門学校等）1,040円

施設の耐震化状況

免震構造

施設のバリアフリー化状況

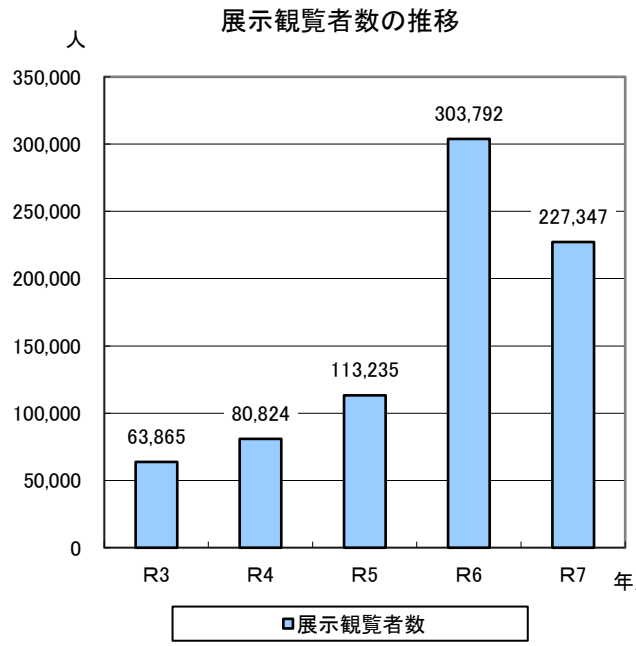
魅力的で使いやすい博物館をつくるため、ユニバーサルデザインに関する団体との意見交換を定期的に行い、施設のバリアフリー化を行った。

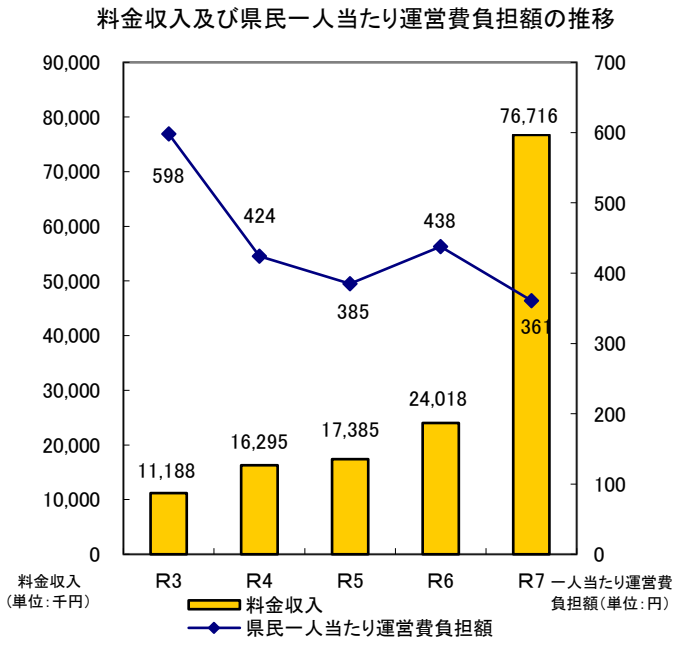
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】（利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など）

県民・利用者のさまざまな関心に応える多彩な展覧会、講座、フィールドワーク、アウトリーチ活動などの実施により、リピーターの確保と利用者の拡大に努めた。
ミュージアムパートナーやボランティアなど個人の利用者をはじめ、大学や企業などの多様な主体との協創・連携に取組んでいく。

成果指標の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
展示観覧者数	63,865	80,824	113,235	303,792	227,347





三重県ホームページの「財産管理」ページの

「個別施設の概要」に掲載している施設概要の一例

個　別　施　設　の　概　要

施　設　情　報

施設名称	三重県庁舎	所属	総務部 管財課
所在地	津市広明町13		
総延床面積（㎡）	41,970.30	財産用途	公用財産　　本庁舎

棟　情　報

NO.	棟名称	構造	階数		延床面積（㎡）	建築年月日
			地上	地下		
1	行政棟　本館	鉄骨鉄筋コンクリート造	8	1	23,128.44	1964/4/15
2	厚生棟	鉄筋コンクリート造	2	1	2,859.84	1964/4/15
3	ＰＣＢ保管庫	鉄骨造	1	0	76.76	1989/3/31
4	議事堂	鉄骨鉄筋コンクリート造	6	2	13,970.48	1990/11/29
5	講堂棟	鉄骨鉄筋コンクリート造	3	0	1,327.79	1990/11/29
6	本庁舎　非常用自家発電機棟	鉄筋コンクリート造	1	0	80.07	1996/9/6
7	渡り廊下（厚生棟）	その他造	1	0	55.06	2003/3/20
8	防災備蓄倉庫	鉄骨造	1	0	134.28	2004/3/29
9	車庫棟（北棟）	鉄骨造	1	0	118.10	2009/9/25
10	車庫棟（南棟）	鉄骨造	1	0	219.48	2009/9/25

※「個別施設の概要」は以下のＱＲコードからご覧いただけます。

※QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。